

ジア先生から報告が行くとは思いますが、会談の様子は以下の通りです。

10月7日午後5時30分から30分間、予定通り大統領官邸で行われました。日本大使館から高橋副大使以下2名、アフガン政府側から報道官、直属の秘書数名が列席されました。質素な集まりで、報道関係者は招かれませんでした。

式は終始和やかな雰囲気で行われました。印象的だったのは大統領の喜び方で、初めから長い抱擁の挨拶で始まり、よほど嬉しかったのでしょうか、最大の英雄、最も勇敢な男、最大の貢献、などなどと私たちの仕事に対する激賞の言葉が続きました。4月に市民証の発行を指示してから、選挙や内外の政治的变化で忙しく、やっと願いがかなったという感じでした。

以前経済大臣をしていた頃、水と農業の問題をずいぶん考えたことがあるそうです。しかし、どの援助も、話や理論ばかりで、成功したものはなかったそうです。昨年、英語の「緑の大地計画」を手に取り、何度も熟読し、「これがカギだ」と思ったそうです。普段6時間以上続けて読書をしたことがなかったが、引き込まれて8時間以上をかけて読んだそうです。

既にPMS方式の一部は大統領指示で、クナール河流域で行われており、小生らも協力を約しました。小生らの主張のエッセンスも良く理解されており、「実際の経験を以て成功させた」ことが何度も賞賛されました。やはり実を重んじ、勇気と実行を美德とする古風なパシュトゥンの面影があります。

大統領はどこか高貴な感じがする好々爺で、ユーモアのセンスがある方です。「狂った川を愛を以て制したのですな。川から離れられませんな」とも述べられました。

最後に、大統領官邸にはいつでも来てよろしい、何か困ったことがあれば知らせてくれるようにと、秘書官たちにも言いつけ、再会を約してお別れしました。破格の待遇に、ジア先生も喜んでいました。

以上、ご報告申し上げます。

2019年10月8日 記

アフガン・イスラム共和国市民証を皆に示して喜ぶガニ大統領



狂った川を愛しているのですな







